

その
ところはっ
教えてください
そのワケを
#4



さまざまな種類の草花や
樹木が庭を彩ります。
左は小型犬「たけの」
下はヤギ「Cya」



「馬ばデザインクラブ」と書かれた馬小屋と、小さなヤギ：「気になるなあ」と訪ねたのが、佐藤さんのお宅でした。現在は二女の美絵さん家族と暮らす悦子さん。自宅を建て替えるのに合わせて、牛小屋を馬小屋にリフォームしました。

野馬追にも参加してきた美絵さんのご主人・弘典さんは、競走馬を生産する会社でシエフをしていて、いずれこの地で引退馬を飼う構想を持っているそうです。「今は原町に預けているけど、ヒロちゃん（弘典さん）の馬が2頭いるの。家の横の牧草地が運動場。ヤギは

ね、雑草を食べてもらおうと思って飼いだめたんだけど、グルメラしくて、ヨモギやクローバーしか食べないの。今ではすっかりペットです」。

長男家族と茨城県に避難し、孫と鳥取県に避難し、県内に戻って三女家族と暮らす悦子さん。「自宅に戻れるとは思わなかった。波乱万丈だね」と笑います。草花がかわいらしい花を咲かせ、家族の手作りしたピザ窯が置かれた庭。さらには金魚や小鳥もいるにぎやかで心いやされる家。ヤギはメエエと悦子さんと呼んでいました。

佐藤 悦子 さん
小宮

プレミアム付商品券を販売します

問 健康福祉課福祉係
☎ 0244-42-1633 (いちばん館)

所得の少ない方々や子育て世帯への消費税引き上げの影響を緩和し、地域の消費を支えるために、プレミアム付商品券を販売します。対象となる方には、案内の書類を送付していますので、内容のご確認をお願いします。

※商工会の「いいたてプレミアム付商品券」とは別の事業です。

● **購入対象者** 非課税者・子育て世帯
非課税者向けと子育て世帯向けの両方に該当する場合、それぞれ対象者分の商品券を購入できます。

● **購入できる金額** 対象者1人につき、2万5,000円分の商品券を、2万円で購入できます。商品券は、村の加盟店、または避難先自治体の加盟店でのみ使用できます。詳しくは、商品券購入引換券と同封予定の案内をご確認ください。

非課税者向け 平成31年度分の市・県民税（均等割）が課税されていない方が対象。ただし市民税が課税されている方と生計が同一の配偶者や被扶養者、生活保護受給者などは対象になりません。

* 必要な手続き * 郵送された申請書に記入し、返信用封筒で郵送提出ください。該当者には、9月下旬以降に、商品券の購入引換券を送付します。

子育て世帯向け 令和元年9月30日現在で3歳未満の子どもがいる世帯の方が対象。

* 必要な手続き * 申請手続きは必要ありません。9月下旬以降、随時、該当者に商品券の購入引換券を送付します。

帰省していた家族連れや、地区の人など、多くの人が集まり、のど自慢やオケ大会や盆踊りを楽しみ、地元を盛り上げました。



8月14日、今年4月に完成した新しい飯樋町集会所の前庭で、飯樋盆踊り実行委員会が、「飯樋盆踊り大会」を開きました。この盆踊りは震災後の復活から3回目で、新しい集会所前では、初めての開催です。



この日は、村内でボランティア等を行っていた外国の方も参加。盆踊りを初めて体験した人も！

奈々さんの友達らも参加者をおもてなし。近所の人から、移住相談室の「お試し住宅」利用者まで、交流の輪が広がりました。

8月16日、深谷住宅のトレーラーハウスで、飯館村地域おこし協力隊の松本奈々さんが、「モチヨルバル」を開きました。飲み物やおつまみを持ち寄り集まった人達が、一緒に過ごすひとときを、和やかに楽しんでいました。



夕暮れのそよ風を楽しみながら、トレーラーハウスの外でおしゃべりするの、いい感じ。



小さな私が喜んだ飯樋町。荒商店にあるポンプの跡、水汲みに挑戦していた私を父母が探しに来て、私はいやいやながらに帰った。昭和34年頃、村には人も牛もたくさんいて、私は、年上のお姉さん達に面倒をみてもらいながら育ったのだと思います。
(要約抜粋)



この夏、飯樋町出身で福島市在住の佐々木あけみさんから、「広報いいたて」にお便りいただきました。お便りには、佐々木さんが幼少期を過ごした飯樋町での思い出が綴られていました。ご紹介します。